

# 第6回海老川流域懇談会における意見と対応

資料2

## 第6回海老川流域懇談会における意見と対応（当日会場）

No	意見の分類	意見の要旨	事務局見解
1	治水／計画	異常気象による局所的強雨の可能性の増大や財政難を考えると、河川整備の他に、雨水浸透の促進などが大切であると思うが、どうか。（穀内委員）	雨水浸透は、船橋市及び鎌ヶ谷市とも協調して推進しております。水循環の健全化を今後とも継続して取り組んでいきます。
2	治水／計画	異常気象による洪水の危険性が高まることを考えると、過去3年間の海老川の流況、降雨強度と流量の関係などデータに基づき、危険度への対応策を知りたい。（平沢委員） 確率雨量を高めたり、改修を進めるだけでは、解決するものではない。大切なのは、住民の避難であるので、この流域懇談会で今後、検討して行くことを事務局にお願いする。（高橋座長意見）	海老川は千葉県知事が行う水防警報指定河川となっております。海老川は、通報水位2.1mで水防団待機水位、警戒水位2.2m、氾濫注意水位、特別警戒水位2.6mに氾濫危険水位（避難判断水位）で、船橋市に通知いたします。また、船橋市では、平成19年8月に洪水に対する認識を深め、その対応を事前に準備して頂くことにより災害時の人的被害を最小限に留めることを目的として、避難場所など洪水等の災害時に必要な情報を記載した「洪水ハザードマップ」を作成し、市民の方々に配布しております。実際に避難が必要になった場合には、避難に関する情報を防災無線、広報車等の複数の手段で市民の方々に伝達いたします。
3	治水／計画	河川改修が時間50mm対応で行われているという点に対し、時間80mmの雨が降った場合を仮定すると、増水した洪水がどのように押し寄せるか想定されているか。（相澤委員）	時間50mmというものは、確率的には8.3分の1（8.3年に一度起る可能性がある洪水の確率）に相当し、現在の河川整備の目標はこれに対応するように設定されています。この目標を達成するためには、海老川調節池が完成する必要があります。このような状況下で、この目標以上の強い雨が降れば、川から水が溢水することになります。これに対応するために、船橋市が作成した洪水ハザードマップを活用し早期避難をしていただくこととなります。なお、時間80mmの雨が降った場合の洪水被害は想定していませんが、このハザードマップに示された浸水想定区域は時間70mmの雨が降った場合を表現してありますので参考にしてください。
4	治水／計画	事業評価において期間が設定されているが、事業完了の予定が明らかになっていない。市民にとっ完成する時期が一番の関心事であるので、わかりやすく示してほしい。（多田委員）	今後の説明では設定可能なものは対応いたします。
5	治水／計画	海老川調節池の完成時期、多目的利用の計画が示される時期を次の懇談会で公開して欲しい。3千人収容の文化会館、災害時の避難場所・仮設住宅の用地、更には、消防の出初式などのイベントスペースなどに利用できる計画にしてみたい。（渡辺委員） 来年や再来年には、具体的にかつ立体的な計画を示して欲しい。素人がわかりやすいような説明をしてみたい。（渡辺委員） ホールは、何処に建つか。（渡辺委員）	県庁の担当部署に現状の可能性について照会した結果、平成12年度と同様に現在のところ計画はないとの回答を得ております。調節池を整備する河川管理者としては、平成12年度に策定した構想を基本として今ままで同様のスペースの確保を考慮して参ります。今後の調節池の整備については、暫定的な掘削工事を進めながら、来年度からは船橋市の関係各課と多目的利用の基本構想を踏まえた具体的な計画づくりに向けた調整作業に着手いたします。  基本構想で定めた多目的広場に対応できるスペースを確保しております。

## 第6回海老川流域懇談会における意見と対応（当日会場）

No	意見の分類	意見の要旨	事務局見解
6	環境／親水	透明度など水質が改善されている報告がある中で子ども達が海老川の水に触れる機会をつくりたいが、危険を伴うので、引き続き対応を検討願いたい。（相澤委員）	海老川に飯山満川が流入する箇所について調査いたしましたが、現地は水深が3メートル弱あり、水流も激しく、施設を造り、水に入る箇所として不特定多数の市民に開放する事は現状では難しいと考えています。但し、河川は自由使用を原則としており、利用者の自己責任のもと危険箇所を避けて責任者が同伴し利用するなどの行為については、当センターで規制することはありません。
7	環境／親水	飯山満川の合流地点の、水深が浅く、安全性が高いので、玉砂利を入れるなどの工夫で、子どもが水に親しみ、市民が憩える場所をつくって欲しい。（鷲見委員） 予算が厳しい中で、何でも削れば良いというものではないので、特に、環境面や親水面の充実、計画に取り入れたい。（高橋座長）	判断できる箇所があれば予算を考慮しながら親水空間の整備を検討して行きます。又、安全と
8	環境／工事	施工の中で、例えば塗装で温度上昇を防ぐなどの温暖化防止の工夫をして欲しい。（藪内委員） 管理用通路のアスファルトでも蓄熱しない方法が江戸川で実験されているので、参考にしたらどうか。（藪内委員）	極力コンクリートなどを用いず、温度が上がらない土の堤防整備などを進めています。 今後、機会があれば検討いたします。
9	その他／維持管理	市川市では、市と市川医師会が協力して定期健診を行っているが、船橋では、どのようにホームレスへの対応を図っているのか。（相澤委員）	船橋市のホームレスへの対応に関する取組みとしては、福祉の視点からホームレスの自立支援を行うため、就労・住まい・福祉サービス・健康等に関する相談・指導を行う専任の相談員を配置し、ホームレス総合相談窓口を開設するとともに、ホームレスが起居している市内約70箇所を訪問する巡回相談を実施しております。